

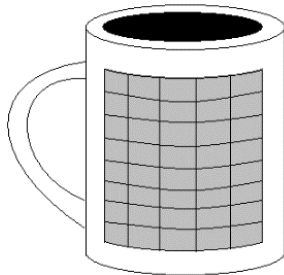
識別ポイントに係る資料

1. 差止対象物品

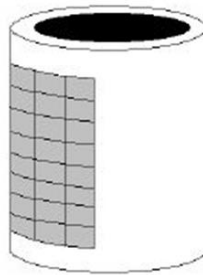
本資料は記載方法の一例です。
詳しくは税関にお問い合わせください。

差止対象物品は、製品名「ソーラーマグカップ」であってA社が製造する
型番「XC-MAG-001」のマグカップである。

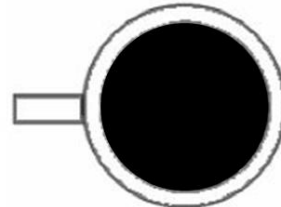
侵害の事実を疎明するための資料に記載の差止対象物品を
ご記載ください。



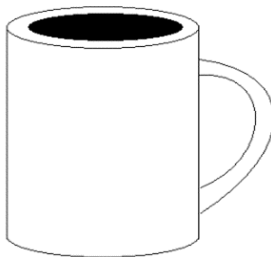
正面写真



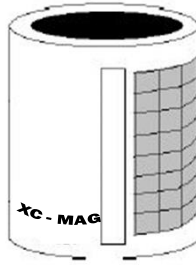
右側面写真



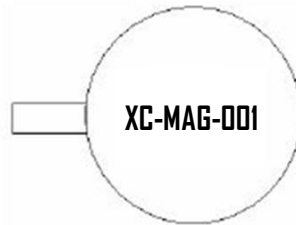
上面写真



背面写真



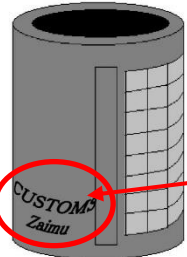
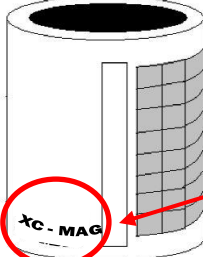
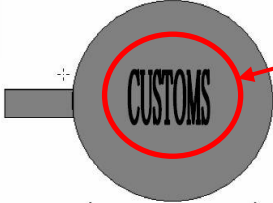
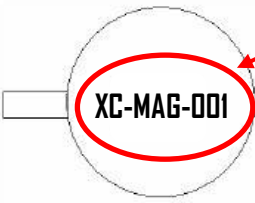
左側面写真



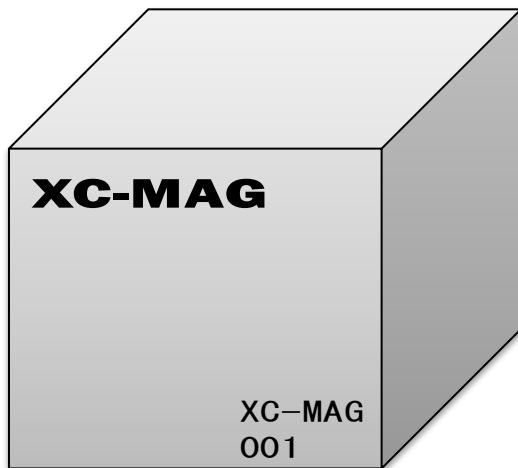
底面写真

2. 真正品（権利者製品）と差止対象物品（侵害品）の相違点

差止対象物品がいわゆる真正品のデッドコピー品ではなく、真正品との対比によらず差止対象物品を判別できる等の場合、真正品との対比は必須ではありません。

真正品（権利者製品）	差止対象物品（侵害品）
 ※識別ポイントを図示し、説明を記載。	 ※識別ポイントを図示し、説明を記載。
 ※識別ポイントを図示し、説明を記載。	 ※識別ポイントを図示し、説明を記載。

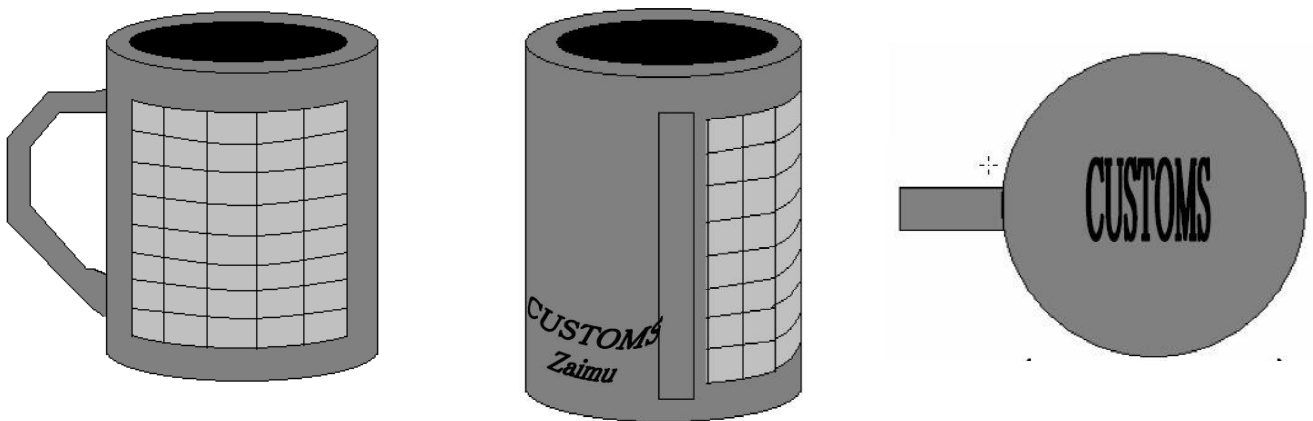
3.（参考）差止対象物品の梱包状況



梱包の外装には、型番である「XC-MAG」「001」の表記がある。

4.（参考）権利者製品

上記2. と記載内容が重複するようでしたら記載は不要です。



権利者は、「CUSTOMS Zaimu」ブランドのマグカップを製造・販売している。
権利者製品の把手部の左下端には「CUSTOMS Zaimu」の表記がある。
権利者製品の底面には「CUSTOMS」の表記がある。

「識別ポイントに係る資料」作成上の留意点

○識別ポイントは、税関が侵害疑義物品を発見するための参考となる資料です。

○真正品又は侵害物品に特有の表示、形状、包装等の真正商品と侵害物品を識別するポイントや方法を記載してください。権利の内容と直接関係しない事項でも構いません。

○記載にあたっては、

- ・真正品又は侵害物品の全体が分かるようにしてください。
- ・識別のポイントとなる箇所の全体から見た位置が分かるようにしてください。
- ・可能な限り、鮮明な画像としてください。